

HP Protect and Trace with Wolf Connect

リモートロック/リモート消去 操作手順

株式会社 日本HP

2024年4月



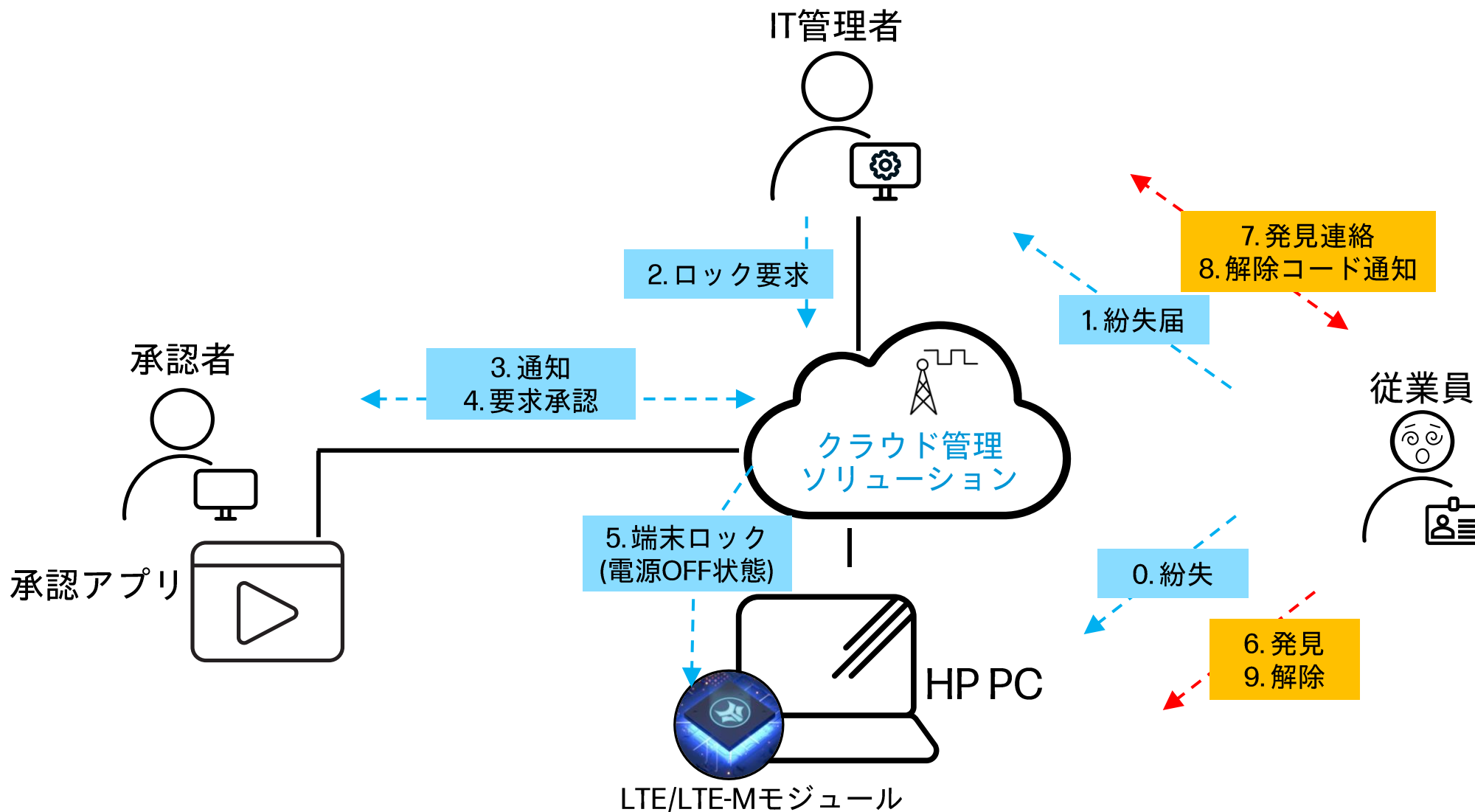
はじめに

ここでは、HP Protect and Trace with Wolf Connect でのリモートロックあるいはリモート消去（リモートワイプ）の操作を説明します。

ロックあるいはデータ消去が実行される対象デバイスは、あらかじめクラウド管理ソリューションに登録され準備が完了しているものとします。

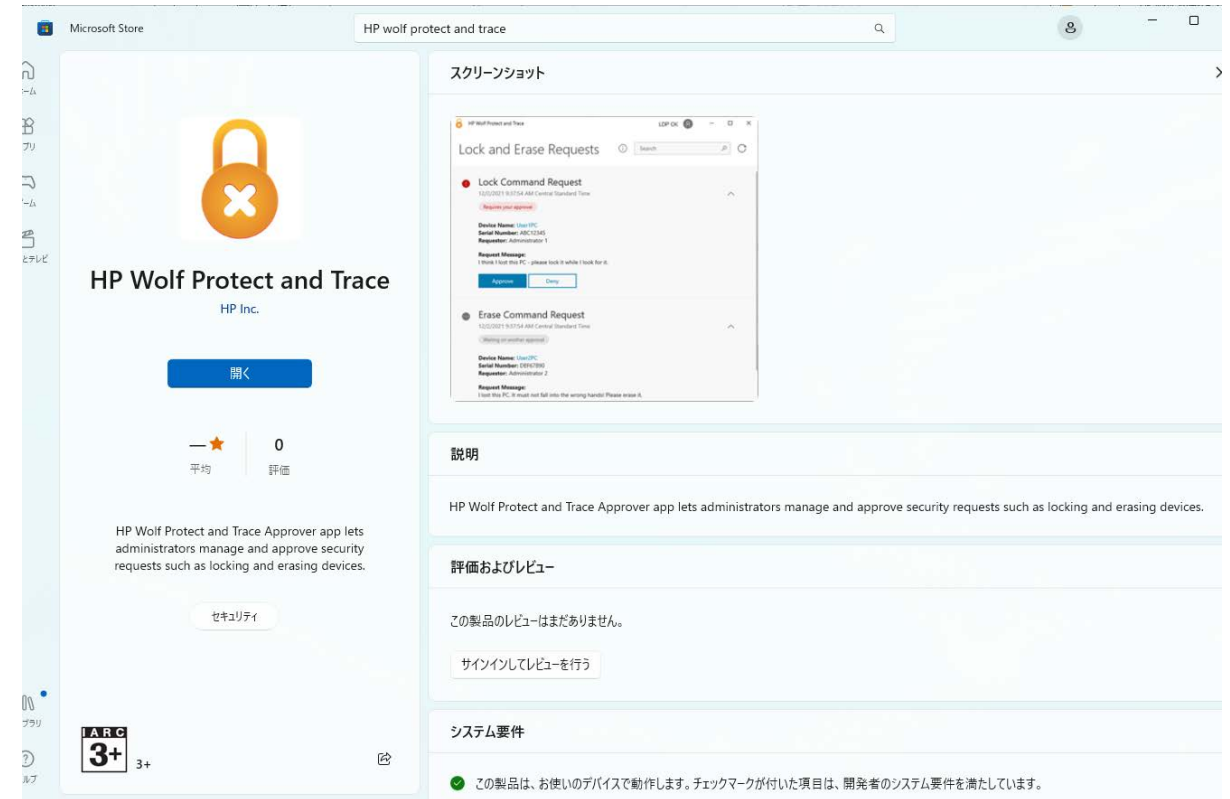
クラウド管理ソリューションおよび承認アプリケーションで使用される各アカウントは構成済みであることを前提としています。

リモートロックプロセスの例



承認アプリケーションのインストール

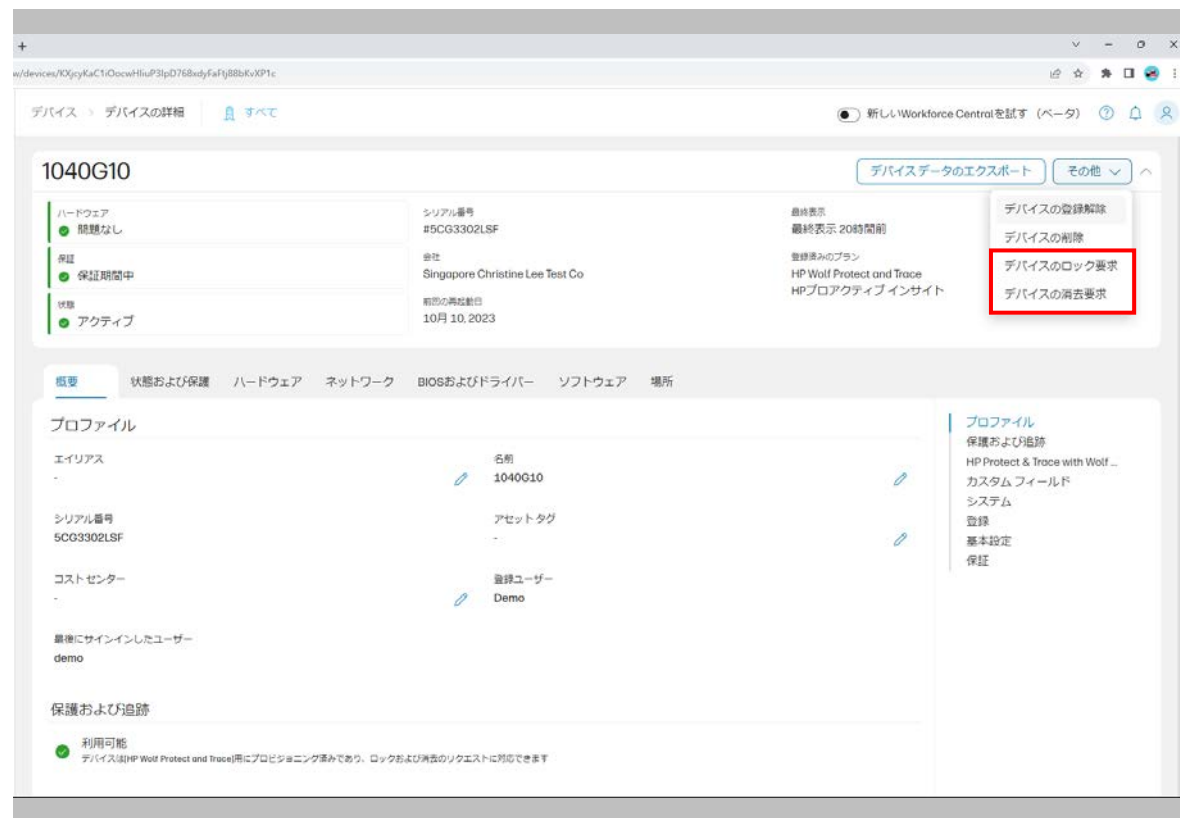
- 事前準備として、承認者用端末にて、Microsoftストアから「HP Wolf Protect and Trace」アプリを検索してインストールしておきます。
- クラウド上のクラウド管理ソリューションを操作する管理用端末と同一でもかまいません。
- 承認を実行する際にWindows Hello 指紋認証あるいは顔認証を利用します。Windows Helloの認証設定を完了しておきます。



クラウド管理ソリューションでの 要求作成



クラウド管理ソリューションにサインイン



対象のデバイスを選択し、右上部の「その他」メニューより「デバイスのロック要求」あるいは「デバイスの消去要求」を選択

クラウド管理ソリューションでの 要求作成(つづき)

デバイスのロック要求

このデバイスをロックするには、指定された1人の承認者から承認を受ける必要があります。
このリクエストの通知を希望する人を1名以上選択してください。その他すべての承認者には通知されませんが、リクエストを確認して承認することはできます。

承認者

ここで入力したメッセージはデバイスのロック画面に表示されます

保存

キャンセル

ロック要求の場合：

承認者を選択して、ロック画面に表示するメッセージを入力
※メッセージは日本語2バイト文字は利用不可。1バイト文字のみ利用可能。

保存のクリックで要求完了。この時点では命令はまだ実行されません。

デバイスの消去要求

このデバイスを消去するには、指定された1人の承認者から承認を受ける必要があります。
このリクエストの通知を希望する人を1名以上選択してください。その他すべての承認者には通知されませんが、リクエストを確認して承認することはできます。

承認者

ここで入力したメッセージはデバイスのロック画面に表示されます

消去後にデバイスをロックする

保存

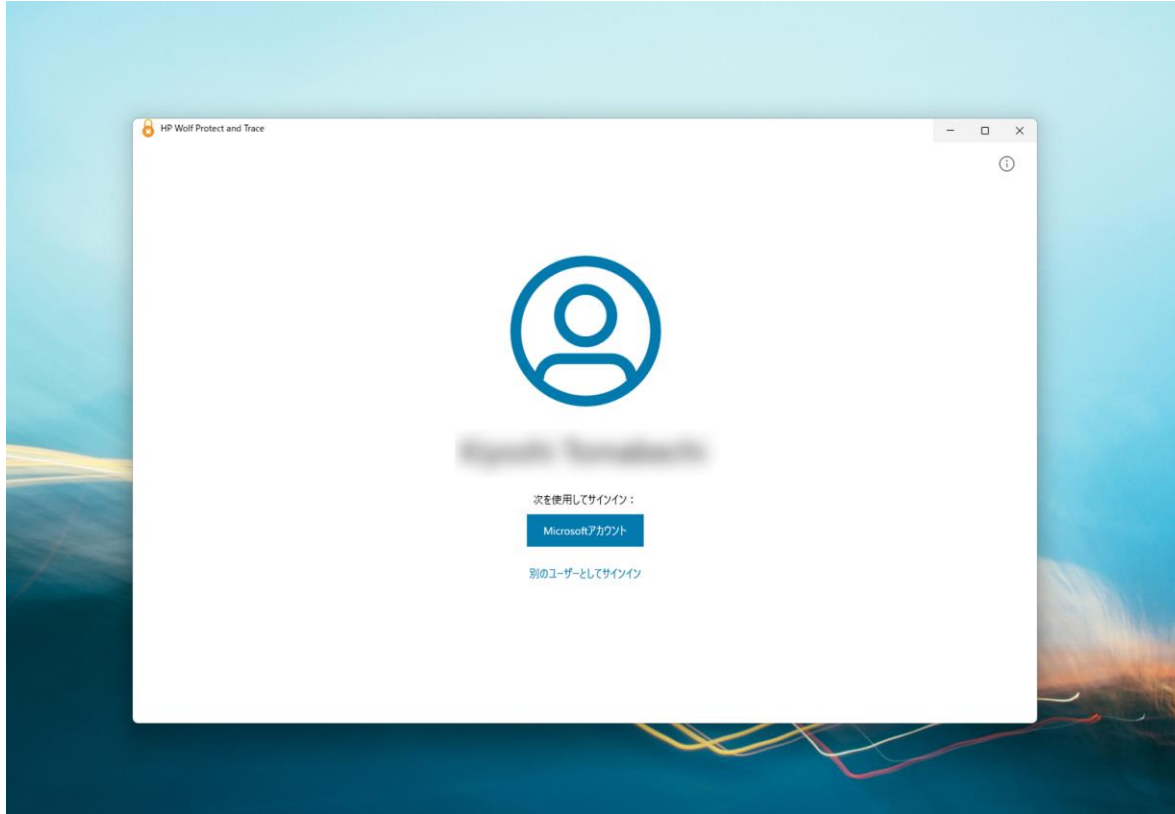
キャンセル

データ消去要求の場合：

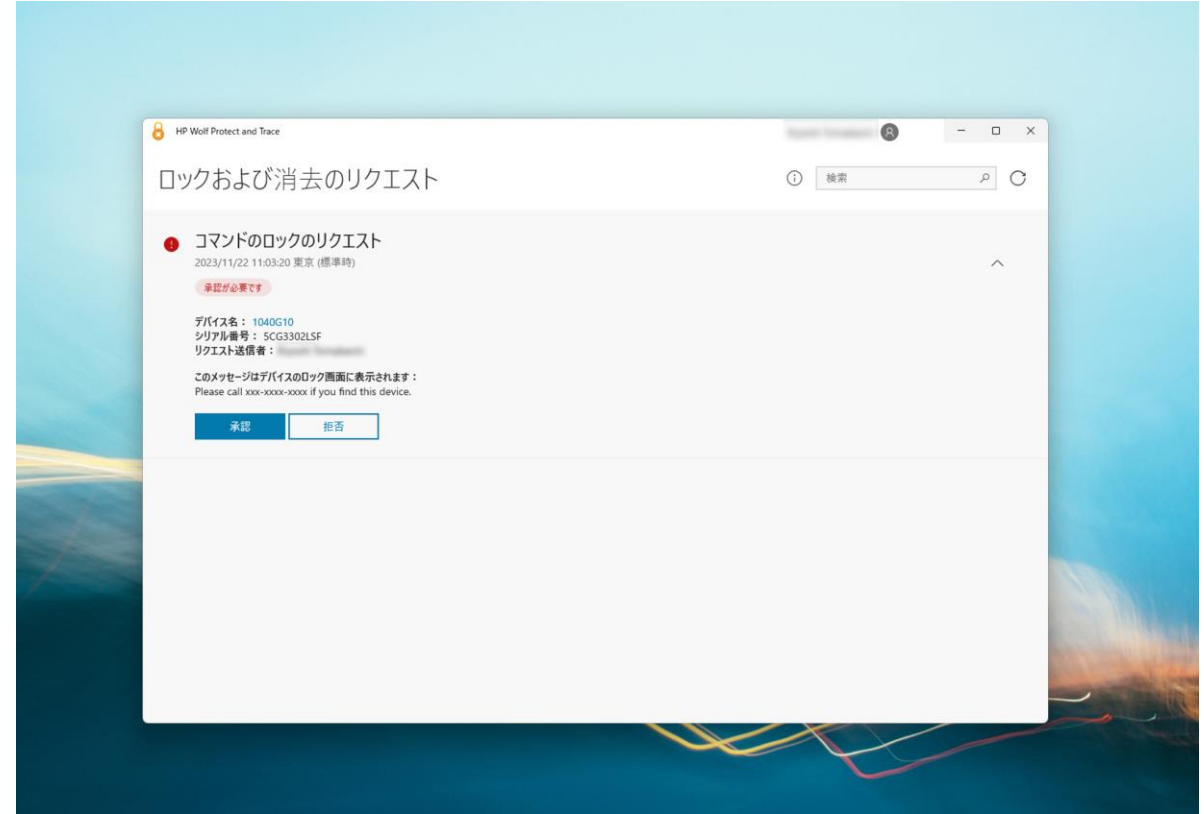
同様に承認者を選択し、同時にロックを実施する場合は「消去後にデバイスをロックする」をチェックし、表示するメッセージを入力。

保存のクリックで要求完了。この時点では命令はまだ実行されません。

承認アプリケーションによる承認

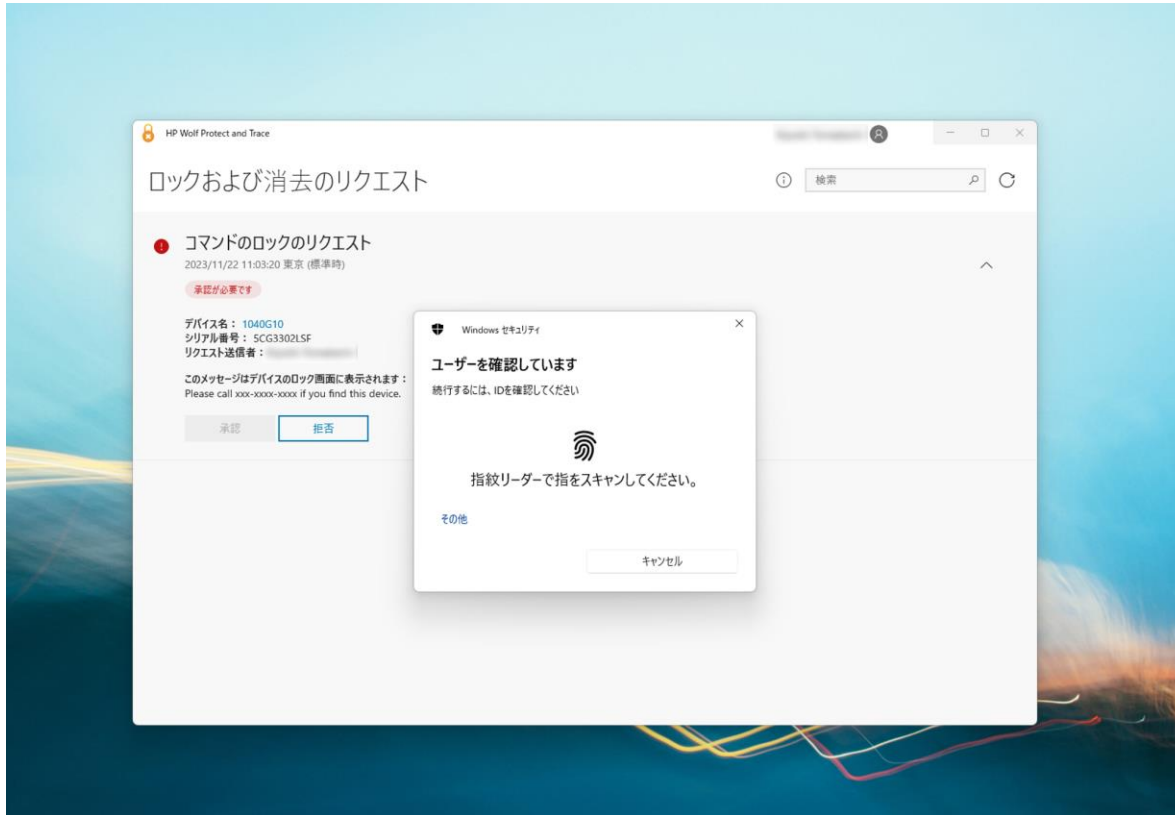


承認用アプリケーション「HP Wolf Protect and Trace」を起動し、要求時に設定した承認者のアカウントでサインイン



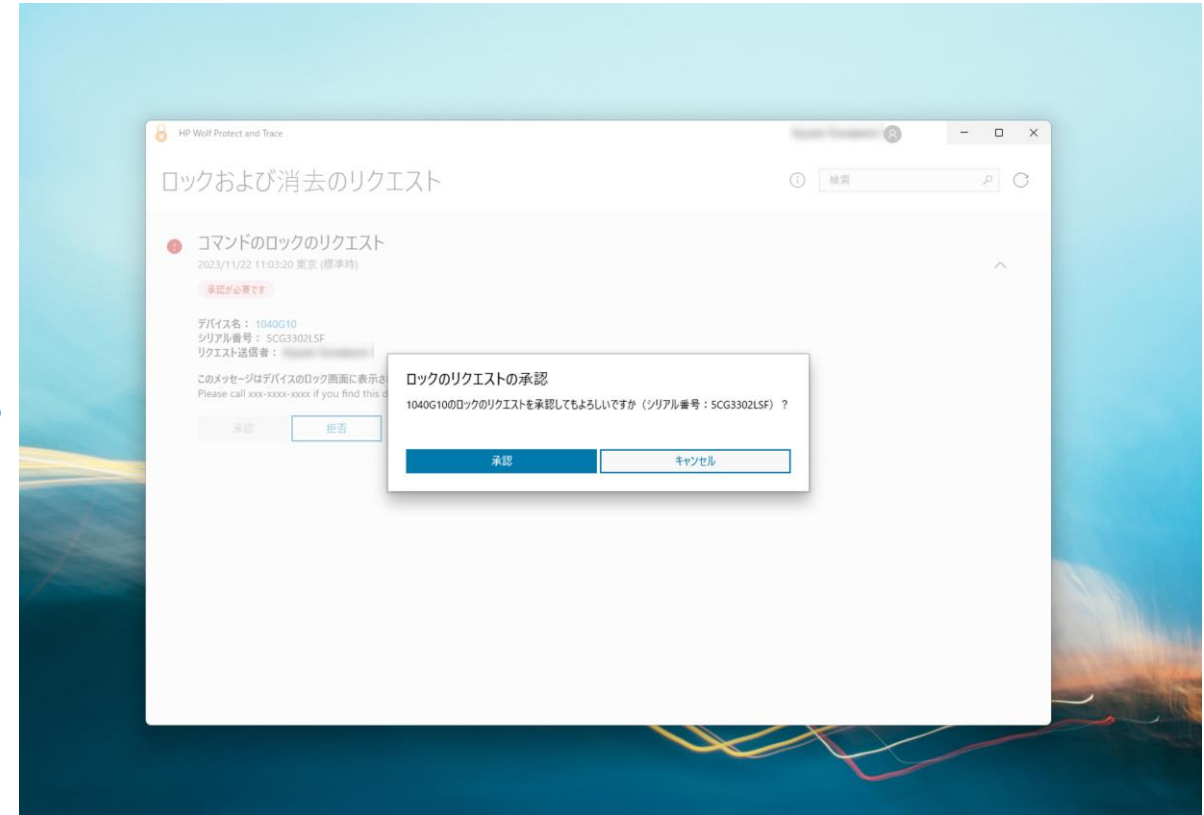
ロック要求/消去要求の表示内容を確認し、承認をクリック

承認アプリケーションによる承認(つづき)



ユーザー認証を実施

※この画像はWindows Hello指紋認証を利用する例です。



認証後、承認をクリック

これによりロック/消去の命令が対象デバイスに送信されます。



System Management

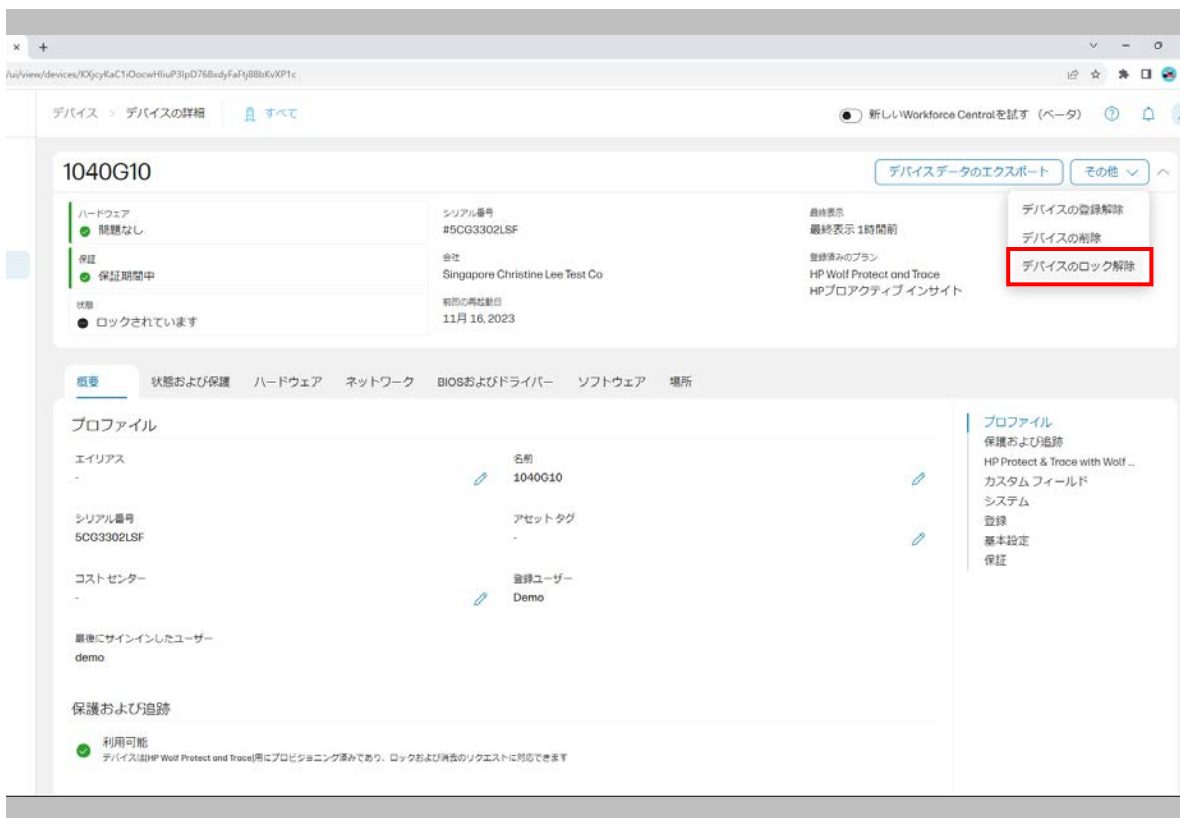
This system has been LOCKED.

Please call xxx-xxxx-xxxx if you find this device.

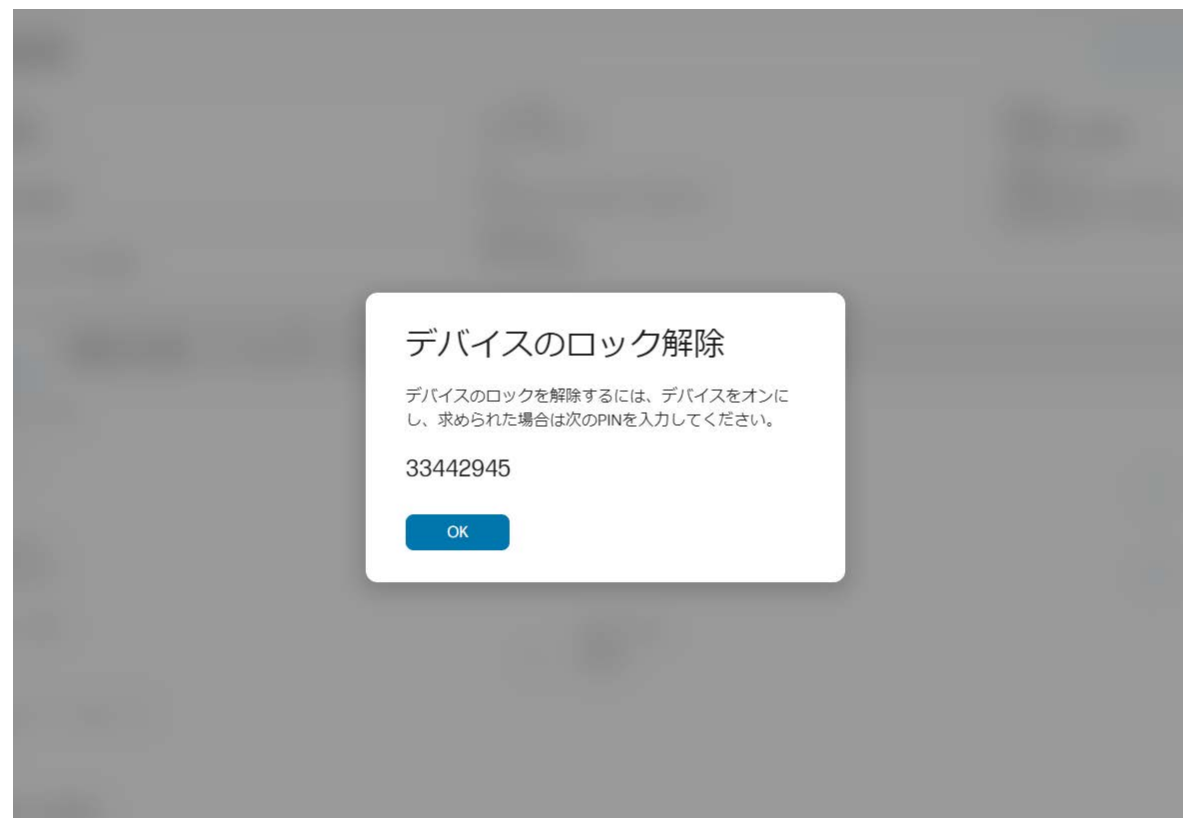
Type the numeric unlock PIN and press ENTER to unlock.

対象デバイスにてロックされた画面例。BIOS/UEFIレベルでのロックが実施されています。
Windows起動不可、BIOSアクセス不可、外部媒体からの起動不可など何もできません。

ロックの解除(アンロック)



クラウド管理ソリューションにて対象のデバイスを選択した画面で「その他」メニューの「デバイスのロック解除」を選択



ロック解除のPINを確認し、対象デバイスのロック画面にてこのPINを入力してロックを解除

※ロック解除後、Windowsを起動して再度 TechPulseのクライアントエージェントのsetupを実行してしばらくするとデバイスがアクティブ状態にもどります。

